学　会　記　事

◎第7回理事会（昭.33.12.17）出席者：篠原，本間両副会長，高野，中安，藤村，渡辺，国分，井口，西島の各理事。議事：1）11月中の行事その他報告，2）昭和33年度土木賞委員会委員候補者推薦について，3）論文抄録第6集編集計画について，4）支部長懇談会開催について，5）第3回材料試験連合講演会の幹事学会担当を承諾，6）図書交換（Cemento-Hormigon）および図書室管理について，7）委員会委員委嘱について，a）土木振興対策委員会の東委員を高野　務氏と交代委嘱，b）文献調査委員会に梶川温彦氏（鉄道技術研究所）を追加委嘱，8）11月中会員入退会承認（別掲）。

◎各種委員会

1．第7回会誌編集委員会（昭.33.12.19）出席者：田原，井口正副委員長，奥村，樋口，諫山（代），海保，上東，粟津，伊東，寺島，南（代），岡崎の各委員，深谷幹事。議事：1）投稿原稿審査報告および審査委員の決定，2）依頼原稿の状況，3）土木賞候補論文の下調べについて，4）44巻よりの表紙刷色について，5）44巻2号登載予定原稿を次のとおり予定した。

吉田徳次郎：第6回国際大ダム会議に出席して，田坂栄美・広瀬可一：第二阪神国道の建設計画，高橋彦治：トンネルの湧水—北陸トンネルにおける湧水量の推定—，奥村敏恵：アメリカの大学の一端—特に Illinois 大学 Talbot 研究所—，土木設計および管理業務基準制定について，越路橋工事について（写真）。

2．第7回会誌編集小委員会（昭.33.12.8）出席者：田原委員長，奥村（代佐々木），諫山の両委員，深谷幹事，広告代理店KK 共栄通信社より3氏。議事：1）44巻1号編集につき最終的打合わせを行なつた（90ページの予定），2）43巻12号口絵およびニュースの決定，3）広告面のあり方について広告代理店と話し合つた結果，なるべく資料広告を中心に，役に立つものを目標に広告主に依頼するように決定した。

3．第7回文献調査委員会（昭.33.12.3）出席者：樋口委員長，野口，日野，丸山，土屋，新谷，小池，伊能，津野，高秀，佐藤の各委員，矢島幹事，八十島前委員長，徳平，山口，千秋の各前幹事。議事：1）44巻1号登載抄録の決定，2）新しい文献整理カード記入方式の統一，3）44巻1号目録の選定，4）カード分類に関しUDCの採用を内定，5）新年度よりの企画，その他，6）前委員長，前幹事等を招き意見を聞き懇談した。

4．第22回耐震工学委員会（昭.33.12.8）出席者：沼田委員長，岡本，畠山，友永，比田，田原の各委員，久保幹事。報告事項：1）第2回世界地震工学会議準備について：11月29日に組織委員会が結成され武藤　清教授が組織委員長となつた。なお，組織委員として建築，土木それぞれ1名の増員があり，平井　敦教授（土木）を推薦した。a．分科会および常任委員は次のごとく分担する。

総務分科会：河角，°田原，°比田，竹山，大築，南
会計分科会：広野，°友永，中川
論文分科会：金井，°岡本，久田
関西地区分科会：西村，°小西，横尾

b. Proceeding の会議前配布が困難視されているので会議前には予刷を配布すること，c．第1回の Circular（主として論文関係）の原案の承認，等が決つた。また12月3日の常任委員会にて，後援会について種々意見が交換され，総務分科会で原案を作成し，次回の組織委員会に提出することになつた。2）文献調査：Steiubrugg 氏（E.E.R.I の Secretery）の土木関係文献紹介依頼について取扱い方法。議事：1）第2回 WCEE 準備に対する費用を建築，土木両学会から折半で組織委員会に貸す件が提案され承認，2）WCEE に提出される国内論文については学会でまとめる6編のほか一般から公募することにし，なるべくはやめに会誌に公告することを決めた。論文発表希望者は1960年の WCEE に提出される予定の論文名とその内容梗概を4月末日までに耐震工学委員会へ提出し，本委員会で審査の上提出論文をきめることに定めた，3）WCEE の準備活動を円滑に行うため建設省土木研究所長に，委員長と岡本委員が協力方を御願いに行くことにした，4）後援会の構成について協議し，関係団体として原子力発電会社，公営電気経営者会議，私鉄経営者協会，道路協会，河川協会を追加したらどうかとの意見があつた，5）次回委員会は昭和34年1月26日（月）とする。

5．第18回水理委員会（昭.33.12.10）出席者：安芸委員長，米屋秀三，渡辺隆二（代梅野），岩塚良三（代木村），岡田篤也，浜田徳一（代光易），林　泰造，本間　仁，伊藤　剛，岩井四郎（代広田），坂本竜雄，嶋　裕之，高畑政信，竹内俊雄，水越達雄（代佐藤），光元卓介，岩崎敏夫，藤本　得（代手塚），岩垣雄一，田中　清，横田周平（代山根）の各委員。議事：1．34年第4回水理研究会講演会，日時：土木学会総会の前日，場所：広島市

課題：A．堰，水門または弁の水理（振動，揚圧力，空洞現象，空気混合流を含む）
B．密度流（濁水，清水，温水，冷水，淡水，かん水を含む）
C．委員長特別講演

講演申込締切：34年3月10日，原稿締切：4月10日（オフセット印刷とし，原稿2ページまで無料，それを超える分は超過金投稿者負担とする）。

2．34年度 IAHR 大会について，1）大会出席者は土木学会海外連絡委員会に大坪喜久太郎委員を推薦すること，2）同大会に関する要項はつぎのようである。開催地：カナダ　モントリアル市，開催日時：1959年8月24～31日

主　題

A. Hydraulics of Gates and Valves (including vibration, forces, cavitation, ice).
B. Fundamental Hydraulics of Ship Locks.
C. Density Currents (including effects on reservoir sedimentation, hydro-electrics intakes, fishing industry, etc.).

D. Air Entrainment and Air Vents.

他に technical session の非公式研究ゼミナールの主題として

1. Ice Problems in Hydraulic Structures.
2. Transportation of Material in Water.

公式用語 フランス語および英語

論文申込 題目および要旨：1959 年1月15日まで

論　　文：1959 年3月1日まで

フランス語および英語で各1通づつ作製のこと

3. 第9回（1961年）IAHR 開催の件

東京に招致の件について今後検討をして行くこととする。これにつきいろいろの意見を委員会に寄せられることを希望する。

4. 幹事長交代の件

林幹事長渡仏のため，後任を吉川委員（当日欠席）に交渉のことを委員長に一任する。

次回委員会予定，昭和 34 年3月末（34 年度水理研究会講演原稿締切後）

7. 第 10 回土木振興対策委員会（昭.33.12.11） 出席者：平山委員長，比企，篠原（代星野），千秋の各委員。議事：1） 東委員の後任に高野理事をお願いすること，2） 工務士法制定について小委員会を設け研究を進めること，ために前回の委員および法案の資料を用意すること，3） 土木設計および監理業務基準ができ上つたので同小委員会委員の謝礼を考えること，4） 次回は 34 年1月 20 日頃「工務士制度再検討について」として開くこと。

7. 第2回土木工学ハンドブック改訂主査委員会（昭33.12.18）出席者：福田委員長，岡本（代久保），国分，田中，平井（代島田），友永（代西村），田原（代大橋），小野木（代高橋），逸見，清水（代西島），高野，松井，川村（代南部），戸田（代谷田），扇田，大野，高木（代志関），高畑，清野（代佐々木），坪井（代矢代）の各主査委員，学会事務局3名，技報堂職員2名。議事：1） 改訂の程度についての検討，2） 各部門の予定ページの報告，3） 原稿の締切を 34 年5月末日とし，出版期日を 34 年末までとする，4） 編の配列を一部変更する，5） 外国文献の引用について。

8. 長大橋梁および高張力鋼鉄道橋研究委員会(昭.33.12.19) 出席者：田中委員長，青木，沼田，福田，成瀬，平井，奥村，田中（五），埴田（代上野），友永，中根の各委員，西村，菊池，田島，阿部，安浪，伊藤，安藤の各幹事。議事：1） トラスに関する条項について討議一高張力鋼鉄道橋第一読会終了，2） 長大橋梁に関し主として上部構造の研究基本方針について検討，3） 海峡鉄道橋の計画について説明があつた。

9. ハンドブック改訂各部の分科会を次のように行なつた。

土木材料分科会	12 月 5 日
コンクリート関係分科会	12 月 25 日

10. 編集部に関する幹事打合会

会誌・論文集幹事打合会	12 月 9 日
会誌・論文集幹事打合せ会	12 月 26 日

支　部　だ　よ　り

1. 東北支部

コンクリート講習会（昭.33.11.26～27 仙台市プラザー軒）

課　題

第1日

無筋コンクリート標準示方書の解説

東京大学教授　工博　国分　正胤

鉄筋コンクリート標準示方書の解説

東北大学助教授　工博　後藤　幸正

舗装コンクリート標準示方書の解説

建設省土木研究所　伊東　茂富

第2日

注入コンクリートについて

国鉄鉄道技術研究所　三浦　一郎

品質管理の実例について

建設省東北地方建設局　三谷　健

国際大ダム会議に参加して

東北大学教授　工博　河上　房義

2. 中部支部

（1） 幹事会　A） 第2回幹事会（昭.33.5.13）出席者：谷藤幹事長 外幹事 14 名，議題：1） 報告事項 (イ) 第1回役員会について，(ロ) 5月見学会について，2） 協議事項 (ハ) 6月行事について，(ニ) 7月行事について，3） その他。**B） 第3回幹事会**（昭.33.6.10） 出席者：谷藤幹事長 外幹事 17 名，議題：1） 報告事項 (イ) 支部長転出について，(ロ) 6月講演会について，(ハ) 役員の異動，2） 協議事項 (ニ) 7月行事について，(ホ) 8月行事について，(ヘ) 後任支部長の推薦について，**C） 第4回幹事会**（昭.33.7.14）出席者：渡辺幹事長 外幹事17名 議題：1） 報告事項 (イ) 6月講演会について，(ロ) 7月見学会について，2） 協議事項 (ハ) 8月行事について，(ニ) 9月行事について，**D） 第5回幹事会**（昭.33.8.12）出席者：幹事長 外 20 名，議題：1） 報告事項 (イ) 7月御母衣ダム見学会について，(ロ) 8月コンクリート講習会について，2） 協議事項 (ハ) 9月行事について，(ニ) 10月支部大会について，**E） 第6回幹事会**（昭.33.9.9） 出席者：幹事長 外 20 名，議題：1） 報告事項 (イ) 8月講習会について，(ロ) 役員の異動について，2） 協議事項 (ハ) 9月見学会について，(ニ) 10月支部大会について，(ホ) 11月研究発表会について，**F） 第7回幹事会**（昭.33.10.21） 出席者：幹事長 外 16 名，議題：1） 報告事項 (イ) 9月北陸トンネル見学会について，(ロ) 10月支部大会について，2） 協議事項 (ハ) 11月研究発表会について，(ニ) 12月役員会について，**G） 第8回幹事会**（昭.33.11.18） 出席者：渡辺幹事長 外 13 名，議題：1） 報告事項 (イ) 11月研究発表会について，2） 協議事項 (ロ) 12月役員会について，(ハ) 1月講演会について，(ニ) 土木賞委員会委員の推薦について，(ホ) 金沢大学学生見学会について。

（2） 役員会 第2回役員会（昭.33.10.21）出席者：役員 31 名。

（3） 支部大会（昭.33.10.11～12）会場：石川県農業会館，出席者：有本支部長代理 外 90 名，特に本部より本間副会長が出席された。議事：1） 挨拶 有本支部長代理本間副会長，小林石川県副知事，2） 会務報告 渡辺幹事長，3） 講演：(イ)最近の建設機械について 金沢大学助教授 枷場重正君，(ロ)建設と美術 金沢美術工芸大学学長 森田亀之助君。

（4） 見学会 A） 5 月見学会（昭.33.5.24）場所：名古屋港修築工事と新名火力発電所建設工事，参加者80名。B） 7 月見学会（昭.33.8.2） 場所：御母衣ダム建設工事，参加者 90 名。C） 9 月見学会（昭.33.9.20） 場所：国鉄北陸トンネル建設工事，参加者 70 名。 D） 学生見学会 1） 信州大学（昭.33.4.30～5.3） 場所：土木研究所その他，参加者 信州大学学生，2） 金沢大学（昭. 33. 11.11）場所：北陸トンネル 参加者 金沢大学学生 46 名。

（5） 講演会（昭.33.6.27）会場：名古屋市名交会館 参加者150名，講演および講師：(イ) ロックフイルダムの機械化施工について 電源開発KK御母衣建設所 工博 伊丹康夫君，(ロ) 井川ダム建設工事報告 中部電力KK建設部 和久英雄君，(ハ) 最近における米国の土木一般事情について 建設省関東地方建設局長 工博 中島 武君，(ニ) 最近における米国の道路状勢について 東亜道路工業本社研究所長 増田久仁男君。

（6） 講習会 コンクリート講習会（昭.33.8.12～14）（日本セメント技術協会と共催）会場：名古屋市公会堂および名古屋工業大学，参加者 650 名。

（7） 研究発表会（昭.33.11.8）会場：中部電力長野支店講堂，参加者 120 名。

3. 関西支部

（1） 支部選出土木賞候補論文推薦委員会（昭.33.12.5）大阪建設会館にて

出席者：伊藤冨雄，倉田宗章，小西一郎，近藤市三郎，玉井正彰(代)，畑中元弘(代)，藤田畯五(代)，八木健二の各氏。

（2） 第 11 回幹事会（昭.33.12.25）大阪市 近畿地方建設局淀乃寮にて

出席者：石原支部長，石田，伊藤，大島，松尾，八木の各幹事，丹羽商議員。

（3） 第1回技術講座

1） 洪水の実態とその研究（田中 清氏，聴講者 59 名）
2） 土質調査と試験法（松尾新一郎氏，聴講者 221 名）
3） 流砂と河床変動について（岩垣雄一氏，聴講者 67 名）
4） 河川の汚濁と防止対策（岩井重久氏，聴講者36名）
5） 圧波と測定理論（永井荘士郎氏，聴講者 39 名）
6） 地震工学と振動障害（畑中元弘氏，聴講者45名）

聴講者総計 500 名以上できわめて盛況であつた。

会員入退会報告（昭.33.12.31 現在）

1. 入　会　37 名（正 25，准 1，学 11）
2. 退　会　32 名（特1C 1，特2 4，特3 7，正 12，准 5，学 3）
3. 転　格　11 名（准より正へ 11）

会員現在数（昭.33.12.31 現在）

名誉員	賛助員	特1A	特1B	特1C	特2級	特3級	正員	准員	学生員	増加	計
26	30	17	12	69	109	95	8 937	4 264	1 058	+5	14 617

正員　和田正一君　仙台市北5番丁 163　昭和 33 年 12 月 16 日逝去　53 才

昭和 34 年 1 月 10 日印刷　昭和 34 年 1 月 15 日発行　土木学会誌 第44巻 第1号
印刷者 大沼正吉　印刷所 株式会社 技報堂 東京都港区赤坂溜池5番地
編集者 国分正胤　発行所 社団法人 土木学会 東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園入口)
定価 100円　振替 東京 16828 番　電話 (35) 5130・5138・5139 番

准員の全面的な正員への転格について

前号（43 巻 12 号）お知らせ欄に発表致しましたとおり，土木学会定款の一部変更にともない，現在の准員各位は，来る3月 31 日付をもつて，自動的に正員へ転格が行われますから御諒承下さい。

会費は4月1日以来一律に年額 1 000 円となります。従つて論文集は 62 号（5月10日発行予定）より年間6回にわたり配付いたします。名誉員，特別員，賛助員，学生員は従来どおりであります。

Coastal Engineering in Japan, Vol. 1. 1, 1958 頒布について

標記の英文書籍ができ上りました。わが国における海岸工学研究の現状を，広く海外に紹介することを目標としております。第1回より第5回にわたる海岸工学講演会に発表された講演のうち，主なるもの 12 編を選んで編集してあります。内容の詳細は次号に登載する予定ですから希望者は至急お申込み願います。

体　裁：Ｂ５判　タイプライター・オフセット印刷　148 ページ，図表・写真多数

頒　価：**250 円**（送料は学会負担）入会次第急送します。